

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3年後期	3	4	必修
担当教員			
コンピュータシステム学科教員			
添付ファイル			
講義概要			
各教員が小人数のグループについて、それぞれの専門分野の文献等（外国学会誌や外国語の書籍）を用いて、講読を行い、内容のまとめを行う。講義を通じ、研究の意義および科学者の基本的責任について学ぶ。また各種のプログラミングの演習も行い、発表訓練なども行う。			
授業計画			
足立 智子 [授業計画] 情報数理に関連する基礎事項について演習を行う。 [達成目標] 卒業研究に必要な基礎的事項を理解する。 [評価方法] 演習・レポート60%、発表40% 大石 和臣 [授業計画] 情報・物理セキュリティの研究に必要な基礎知識およびスキルを習得する。 [達成目標] 基礎知識を正しく理解し、資料作成スキルと発表の仕方を身につける。 [評価方法] 課題の達成度および発表時等の対応内容を基に評価する。 國持 良行 [授業計画] 夏期休業中より基本情報技術者試験対策を行い、合格を目指す。最近の話題の技術や理論を文献を輪講形式で学習したり、コンピュータ技能を演習形式で身につける。また、与えられた小テーマをグループで取り組み、それについて発表する。そして、卒業研究テーマの構想を考える。 [達成目標] (a) 情報処理や情報数理の知識を身につける。(b) コンピュータ技能を習得する。(c) グループでコミュニケーションとりながら集団行動と共同作業ができる。(d) プレゼンテーションを通して自分の意見を伝えることができる。 [評価方法] 演習・レポート60%、発表40% 幸谷 智紀 [授業計画] 3層Webシステムのテキストを使い、実習を交えたゼミを通じて、データベースとWebをつなぐためのプログラミング技能を学ぶ。 [達成目標] 自ら学ぶ態度、最低限のプレゼンテーション技術を身につける。 [評価方法] 受講態度と課題演習の出来を勘案して評価する。無断欠席した場合は単位は出さない。 櫻井 将人 [授業計画] 卒業研究に向けた準備を行う。 [達成目標] 卒業研究に必要な知識・技術を身に付ける。 [評価方法] 総合的に評価する。 定國 伸吾 [授業計画] デジタルコンテンツ制作の技術について学び、その実践をおこなう [達成目標] デジタルコンテンツ制作を実践する [評価方法] コンテンツの実装における技術的な難易度、およびコンテンツの完成度による総合評価 四宮 友貴 [授業計画] 卒業研究に向けた準備を行う。 [達成目標] 卒業研究に必要な知識・技術を身に付ける。 [評価方法] 総合的に評価する。 高野 敏明 [授業計画] 人工知能に関する基礎的な知識および文章表現、プレゼンテーションについて学ぶ。 [達成目標] 基礎知識を利用と資料作成およびプレゼンテーション技術を身につける。 [評価方法] 課題、資料、プレゼンテーションのそれぞれの完成度により総合的に評価する。 富樫 敦 [授業計画] 卒業研究に向けた準備を行う。 [達成目標] 卒業研究に必要な知識・技術を身に付ける。 [評価方法] 総合的に評価する。 山岸 祐己 [授業計画] 卒業研究に向けた準備を行う。 [達成目標] 卒業研究に必要な知識・技術を身に付ける。 [評価方法] 総合的に評価する。 大相 弘順（兼務） [授業計画] 与えられた各課題について、各回1～2名にプロジェクターを用いたプレゼンテーションをしてもらう。発表者以外の人には、毎回各自1つ以上の質問を課し、全員参加型のセミナーとする。 [達成目標] ・課題を理解し、その内容についてプレゼンテーションできるようになる。 ・質疑応答等のコミュニケーション能力を高める。 [評価方法] 毎回のプレゼンテーションまたは質問・議論が十分な場合合格とする。 松田 崇（兼務） [授業計画] 視覚表現（アート・デザイン・ヴィジュアルライズなど）の基礎を学び、それに必要な基本的アプリケーション技術（Adobe Photoshop、Illustrator）の習得を行う。 [達成目標] 卒業制作に必要な知識や技術の基礎を理解する。 [評価方法] 受講態度と課題・発表で評価する。無断欠席の場合は、原則として、単位は出さない。			

	芦澤 恵太 [授業計画] 情報圧縮に関連する項目について調査・学習する。 取り組み内容をレジュメにまとめ、 報告会を行うことでプレゼンテーションについて学ぶ。 [達成目標] 情報圧縮に係わる研究に必要な知識・技術を身につける。 資料作成やプレゼンを通して報告技術を身につける。 [評価方法] 成果物（調査報告書、レジュメ、発表資料）と 報告会の参画度で総合的に評価する。 河野 郁也 [授業計画] 科学技術計算を高速に処理するための、並列コンピューティングに関連のある基礎的な知識(計算機システム、プログラミング方法)を体得する。 併せて、自分の力で研究に必要な情報を収集・発信するための基本スキルの習得も目指す。 [達成目標] 卒業研究を遂行する、新しいものづくりや問題解決のための知識・技術を養う、あるいは今後の その過程に必要な能力を身につける。 [評価方法] 受講態度および課題等の達成・習得状況から総合的に評価する。
授業形態	原則として、講義と演習 AL：各回とも教員への質問や学生同士のグループ学習を行う (AL①②) 課題：各回とも演習の内容を整理し、研究ノートに検算、成果、課題などをまとめる (AL④) アクティブラーニング：①:15回, ②:15回, ③:0回, ④:15回, ⑤:0回, ⑥:0回
達成目標	教員により異なる。(授業計画に併記)
評価方法・フィードバック	教員により異なる。(授業計画に併記) 原則として、課題等のフィードバックは次回以降の授業内やWEB等を通じて行うが、具体的な方法・タイミングなどは指導教員より都度伝える。
評価基準	教員により異なる。 合格・不合格にて評価する。
教科書・参考書	教員により異なる。
履修条件	なし
履修上の注意	なし
準備学習と課題の内容	各教員の指示に従うこと。毎回3時間以上の準備と復習をする。 各回ともあらかじめ文献等で情報収集した結果を研究ノートにまとめる。 必ず授業ごとに復習して内容を理解し、自分のものにしてから次回の授業に臨むこと。
ディプロマポリシーとの関連割合(必須)	知識・理解:30%, 思考・判断:20%, 関心・意欲:20%, 態度:15%, 技能・表現:15%
DP1 知識・理解	
DP2 思考判断	
DP3 関心意欲	
DP4 態度	
DP5 技能・表現	